2011年の卯年に"ツキ"を呼ぼう!

調神社でウサギさん探し

ツキを呼ぶまち さいたま

地元で「つきのみや」と呼ばれて親しまれている調神社。「ツキ」を運んでくれる幸運の神様として浦和レッズもこの神社で必勝祈願をするとか。ウサギが神の使いとしてあがめられ、境内でウサギの姿を探すのも楽しみだ

調神社（つきじんじゃ）

2000年もの歴史を誇る古社 鳥居のない神社として有名

言い伝えによれば約2000年前に崇神天皇の勅命で創建されたといわれる古い歴史を誇る。鳥居のない神社として有名で、狛犬のかわりにウサギの石像が置かれるなど、個性的。ウサギが神使であり、境内の至るところに彫刻や像が見られる。総欅の社殿は江戸時代末期安政年間の建築だ。

住さいたま市浦和区岸町3-17-25
☎048・822・2254（受付は9:00～16:00）
時9:00～16:00
休なし
交JR浦和駅西口より徒歩10分

狛兎の石像

難易度 ★☆☆

狛犬がわりにド～ンとウサギ像が置かれている。参拝者を出迎えるかのように入り口に2体がそろっているので、これはすぐ見つかるはず

手水舎の石像

難易度 ★☆☆

大きさでは境内でナンバーワン。これが一番見つかりやすいかも。真正面から見るとちょっとこわい…

稲荷社（旧本殿）の彫刻

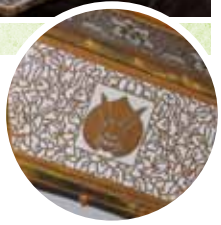
難易度 ★★☆

境内の奥にある旧本殿には、ウサギの彫刻が彫られている。カラーなので比較的わかりやすいはず

拝殿の飾り

難易度 ★★★

拝殿につり下がっている飾りを目を凝らしてよく見ると、ウサギのマークを発見。やや難しいかも

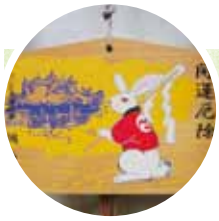


↑調とは「貢ぎ物」の意味で、貢物である初穂を納める倉庫群の中に創建されたともいわれ、搬入の妨げになる鳥居がないとされている

神池の噴水

難易度 ★☆☆

境内奥にある神池の真ん中には、存在感抜群のウサギ型噴水がある。これもビギナークラスか



拝殿正面の絵馬

難易度 ★★☆

賽銭箱の右に配されている大きな絵馬にウサギが描かれている。ほかにも絵馬は境内に多数あり

年中行事もチェック!

7月19日　神幸祭
本社神輿が氏子地域を巡幸する

7月20日　例祭
神社で行われる祭事のうち、最も重要とされている

11月23日　秋祭
毎年恒例の秋のお祭り

12月12日　大歳市祭（十二日まち）
新年の福迎えの行事。数百の露店が立ち並んで壮観

1月1日　歳旦祭
新年を迎え、1年の大神様のご加護を祈念するお祭り

2月3日　節分祭
前年の邪気をはらう意味を込めて、豆まきをする

4月3日　春祭
毎年恒例の春のお祭り

6月30日　大祓式
罪やけがれをはらう除災行事。夏越祓とも

つきのみや七不思議

調神社には七不思議の伝説があり、古くから地元の人たちに語り継がれている。

一　鳥居がない
伊勢神宮への貢ぎ物を境内に運び入れる際、鳥居がジャマになるので、建てないことにしたと言われている。

二　松の木がない
一説によれば、須佐之男命（スサノオノミコト）が大宮の地へ出かけ、なかなか戻ってこないことに立腹した姉神である天照大御神（アマテラスオオミカミ）が「もう待つのはいや」と言ったために松の木がないのだとか。

三　御手洗瀬のひょうたん池に魚を放すと片目になる
真偽はともかく、このような不気味な話が昔から伝わっている。

四　狛犬の代わりにウサギ像
「つき」と「月」の語呂から、ウサギを神の使い姫としている。

五　日蓮上人駒繋ぎの欅
日蓮が佐渡へ流される途中、難産の婦人のためこのケヤキに馬をつなぎ、祈ったところ男子を出産したので、安産の守護神として信仰されている。

六　ハエがいない
調神社の祭神が嫌うためにハエがいないといわれる。

七　蚊がいない
ハエの理由と同じ。

ウサギおいし!

松月堂

浦和駅東口の松月堂で、狛ウサギがモデルのまんじゅうを販売。栗・梅・小豆の3種そろう。

☎048・882・5100
※浦和観光案内所でも購入OK

招きうさぎ ¥630（6個入り）

うさぎ餅最中と竜眼 ¥900（6個入り）

菓子処加藤製菓

調神社のシンボル、うさぎを型どった最中で、サクッとした皮の中に求肥とつぶあんが入っている。

☎048・882・4923
※浦和観光案内所でも購入OK

ウサギを連れて帰ろう

神卯絵馬守
←かわいいサイズで、幅広い年齢層に人気が高い絵馬守